

平成26年度当初予算要求における政策的経費の優先度判断について

1 平成26年度当初予算要求状況

平成26年度当初予算要求においては、

- 子どもを守る対策
- サイバー犯罪対策
- 災害対処能力の強化のための基盤整備

に注力することとした上で、県民の安全・安心を確保するために必要な予算を要求しています。

(単位：千円)

施策	平成26年度要求額(A)	平成25年度当初予算額(B)	増減(A-B)
111 防災・減災対策の推進	51,006	81,343	▲30,337
131 犯罪に強いまちづくり	4,196,877	3,429,954	766,923
132 交通安全のまちづくり	2,685,571	2,908,094	▲222,523
その他(人件費等)	30,332,343	30,442,422	▲110,079
合計	37,265,797	36,861,813	403,984

※平成25年度当初予算額には、2月補正予算(182,536千円)を含む

2 優先度判断の基本的な考え方

要求事業は、県民の「安全・安心」に直結する事業ばかりであります。優先度判断の検討に当たっては、

- 災害や事件・事故に即応する事業
- 新設される道路への交通安全施設の整備や交通安全施設の維持に係る事業

を優先させ、「A」、「B」を判断しました。

(金額単位：千円)

施策番号	A		B		合計	
	事業数	金額	事業数	金額	事業数	金額
111 防災・減災対策の推進	4	7,489	0	0	4	7,489
		7,489		0		7,489
131 犯罪に強いまちづくり	34	333,812	8	49,507	42	383,319
		566,523		77,051		643,574
132 交通安全のまちづくり	20	204,236	2	11,124	22	215,360
		502,140		79,304		581,444
合計	58	545,537	10	60,631	68	606,168
		1,076,152		156,355		1,232,507

上段：一般財源
下段：事業費

3 優先度判断に対する県議会からの意見等

予算決算常任委員会教育警察分科会において、「国補交通信号機設置及び改良費」及び「国補道路標示塗装費」を「B」事業と判断したことに対し、

交通信号機、横断歩道等の交通安全施設の整備については、県民から通学路等への整備要望が多く、また、交通事故防止に直結するものであり、県議会としては優先度が高い事業であると認識しており、必要な予算を確保することとの意見がありました。